

■除草剤：農業用

クサトリキング®

登録番号：22580
 毒性：－
 消防法：－
 有効年限：5年

成分 グリホサートイソプロピルアミン塩……41.0%
 物理的・化学的性状 淡黄色澄明水溶性液体

包装：500ml×20 5ℓ×4 20ℓ×1 200ℓ×1

◆特長

- ほとんどの雑草を、非選択的に枯らします。
- 本剤は茎葉部から吸収され、生長部位に移行し、タンパク合成を阻害する作用性で根まで枯らします。
- 地面に落ちた本剤は、土壤に吸着され速やかに不活性化します。

◆適用と使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	グリホサートを含む農業の総使用回数
				薬量	希釈水量			
果樹類 (かんきつ、 パイナップル を除く)	－	一年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期： 草丈30cm以下)	250～ 500ml /10a	通常散布 50～100ℓ /10a 少量散布 25～50ℓ /10a	3回 以内	雑草茎葉 散布	3回以内
		多年生雑草		500～ 1,000ml /10a				
かんきつ		一年生雑草		250～ 500ml /10a				5回以内
		多年生雑草		500～ 1,000ml /10a				
豆類 (種実、ただ し、だいず、 らっかせいを 除く)	－	一年生雑草	は種7日前まで (雑草生育期)	250～ 500ml /10a	2回 以内	雑草茎葉 散布	2回以内	
だいず								は種後出芽前まで (雑草生育期： 草丈30cm以下)
							畦間処理：雑草生育期 (草丈30cm以下) 但し、収穫前日まで	3回以内
えだまめ							は種7日前まで (雑草生育期)	

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	グリホサートを含む農薬の総使用回数	
				薬量	希釈水量				
小麦	—	多年生イネ科雑草	耕起前又はは種前まで (雑草生育期：草丈30cm以下)	250～1,000mℓ ／10 a	25～100ℓ ／10 a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内	
		一年生雑草	は種後出芽前 (雑草生育期)	250～500mℓ ／10 a					
多年生雑草		耕起7日前まで (雑草生育期：草丈30cm以下)	500～1,000mℓ ／10 a	100ℓ ／10 a					
麦類 (小麦を除く)		耕起7日前まで (雑草生育期)	25～100ℓ ／10 a	1回	2回以内				
だいこん		は種後出芽前 (雑草生育期)							
はつかだいこん		耕起又はは種7日前まで (雑草生育期)	100ℓ ／10 a	1回	1回				
キャベツ		一年生雑草	耕起又は定植7日前まで (雑草生育期)	250～500mℓ ／10 a	通常散布 50～100ℓ ／10 a	3回以内		2回以内	
とうがらし類									10回以内 (1年間に2回以内)
にんじん ピーマン									3回以内
薬用にんじん		3回以内							
ねぎ たまねぎ	定植後畦間処理 但し、収穫30日前まで (雑草生育期)	少量散布 25～50ℓ ／10 a	1回	3回以内					
アスパラガス オリーブ(葉) きゅうり しゃくやく(葉用) たらぎ トマト なす びわ(葉) ほうれんそう レタス	耕起又は定植7日前まで (雑草生育期)	1回	3回以内						

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	グリホサートを含む農薬の総使用回数	
				薬量	希釈水量				
野菜類 (えだまめ、キャベツ、はつかだいこん、だいこん、とうがらし類、にんじん、ピーマン、ねぎ、たまねぎ、アスパラガス、オリーブ(葉)、きゅうり、しやくやく(薬用)、たらこ、トマト、なす、びわ(葉)、ほうれんそう、レタス、薬用にんじんを除く)	—	一年生雑草	耕起又は定植7日前まで(雑草生育期)	250~500mℓ /10a	通常散布 50~100ℓ /10a 少量散布 25~50ℓ /10a	1回	雑草茎葉散布	1回	
水田作物(水稲を除く)			耕起20~10日前(雑草生育期)		100ℓ /10a				
移植水稲		多年生雑草	耕起直後~出芽前(雑草生育期)(乾田耕起栽培)	250~1,000mℓ /10a	25~50ℓ /10a	2回以内		2回以内	
直播水稲			一年生雑草	は種30日前~出芽前(雑草生育期)	250~1,000mℓ /10a				25~50ℓ /10a
			多年生雑草	乾田不耕起栽培)	500mℓ/10a				50ℓ /10a
水田作物(水田刈跡)	水田刈跡	一年生雑草	雑草生育期	250~500mℓ /10a	25~100ℓ /10a	1回	1回		
		多年生雑草		500~1,000mℓ /10a					
水田作物(水田畦畔)	水田畦畔	一年生雑草	収穫14日前まで(雑草生育期:草丈30cm以下)	250~500mℓ /10a	通常散布 100ℓ/10a	2回以内	3回以内		
		多年生雑草		500~1,000mℓ /10a	少量散布 25ℓ/10a				
水田作物、畑作物(休耕田)	休耕田	一年生雑草	雑草生育期(草丈50cm以下)	250~500mℓ /10a	通常散布 50~100ℓ /10a 少量散布 25~50ℓ /10a	2回以内	3回以内		

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	グリホサートを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
牧草	牧野、草地 (更新・造成)	一年生雑草	更新・造成の 10日以前 (雑草生育期)	250～ 500ml /10a	50ℓ /10a	2回 以内	雑草茎葉 散布	3回以内
		多年生雑草		500～ 1,000ml /10a				
		一年生及び 多年生雑草	は種10日前～ は種当日 (耕起整地後： 雑草発生揃期)	250～ 500ml/ 10a	少量散布 25～50ℓ /10a			
樹木等	公園 庭園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地 鉄道 のり面等	一年生雑草	雑草生育期	500ml/ 10a	通常散布 100ℓ /10a	3回 以内	植栽地を 除く 樹木等の 周辺地に 雑草 茎葉散布	3回以内
		多年生雑草		1,000ml /10a	少量散布 25ℓ /10a			
		スギナ	生育盛期	2,000ml /10a	少量散布 25～50ℓ /10a			

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	希釈倍数	使用液量	本剤の使用回数	使用方法	グリホサートを含む農薬の総使用回数
林木 畑作物	林地 放置竹林 畑地	竹類	夏～秋期	原液	5～15ml/本	-	竹稈 注入処理	-
樹木等	公園 庭園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地 鉄道 のり面等	落葉雑かん木	5～10月	原液又は 2倍液	1ml/ヶ所 樹径 ヶ所数 10cm以下 2～3 10～20cm 4～8 20cm以上 10		立木 注入処理	
		雑かん木	伐採直後		切り口全体に 十分量を塗布		植栽地を 除く 樹木等の 周辺地に 切株 塗布処理	

ラベルをよく読み、ラベルの記載以外には使用しないで下さい。

◆注意事項

- (1)本剤はグリホサートを含む農薬であるので、他のグリホサートを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用すること。

- (2) 泥などで濁った水は効果を低下させるので本剤の調製には用いないこと。
- (3) 展着剤の加用の必要はない。
- (4) 本剤は土壌中で速やかに不活性化するので、雑草の発生前処理効果はない。
- (5) 本剤は散布時の雑草の草丈や莖葉面積が大きい程、効果が確実となるので、散布前に雑草の地上部を刈り払わないこと。
- (6) 本剤は通常2～14日で効果が発現し、効果完成までさらに日数を要するので、誤って再散布しないこと。
- (7) スギナ防除に際しては、スギナの生育期を過ぎた時期での散布及びスギナが他雑草の中に埋没しているような条件では効果が劣る事があるので、適期にスギナにかかると注意して散布する。
- (8) 処理後6時間以内の降雨は効果を低下させることがあるので、天候を良く見極めてから散布すること。
- (9) 少量散布の場合は、少量散布用ノズルを用いて、雑草の葉面に均一に散布すること。
- (10) 水田への飛散、流入等により水稲に薬害を生じるので、十分注意すること。
- (11) は種出芽前に使用する場合は、作物の出芽後に散布すると薬害を生じるおそれがあるので、必ず出芽前に散布すること。
- (12) 注入処理における注意事項
処理竹から15m以内に発生したたけのこを食用に供さないこと。また、縄囲いや立て札によりたけのこが採取されないようにすること。
- (13) 雑かん木に塗布処理を行う場合は、伐採後、直ちに切り口全面に直接塗布すること。
- (14) 特に生育期畦間散布に使用する場合には作物にかからないよう十分注意して散布すること。
- (15) 農作物や有用植物に薬液が付着すると、激しい薬害が生じるので、かからないよう十分注意すること。
- (16) 本剤の調製及び保管に際しては合成樹脂の内層のない鋼鉄製(ステンレスを除く)の容器類は使用しないこと。なお散布液を調製した容器及び散布器具は、使用后十分に水洗いすること。
- (17) 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (18) 土壌が流亡したり、くずれたりするおそれのある所では使用しないこと。
- (19) 公園、堤とう等で使用する場合、特に以下のことに注意すること。
 - ① 水源池、養殖池等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意すること。
 - ② 散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、空容器、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理すること。
- (20) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

◆安全使用上の注意

- (1) 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (2) 使用の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼すること。
- (3) 公園、堤とう等で使用する場合は、使用中及び使用后(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないように縄囲いや立札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。
- (4) 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管すること。

◆魚毒性

- (1)水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養殖池等周辺での使用は避けること。
- (2)養魚田周辺での使用には、特に注意すること。
- (3)散布後は河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意すること。